

大切なのは情報！ 多彩な取り組みで、パラスポーツの 盛り上げと共生社会の実現を目指す

パラスポーツ支援を共生社会実現へのきっかけと捉え、社内外向けイベントをはじめ、オリパラアンバサダー制度や社内ポッチャ大会、オリジナルポロシャツ製作、情報紙発行など多彩な活動を展開。TEAM BEYONDを通じて得た情報も参考にしながら、パラスポーツを盛り上げている。



東京ガス株式会社

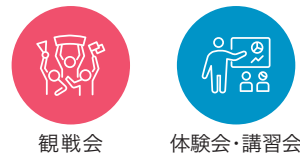


社員を巻き込むオリジナル制度 「オリパラアンバサダー」



障がい者スポーツ体験会の様子

2013年に日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーとなって、パラスポーツ運営ボランティアを社内募集するなど、ひと足早くパラスポーツに関わってきた同社。2015年に「東京2020オフィシャルパートナー」となっからは、パラスポーツと共生社会への理解を促す多彩な取組を行っている。



企業情報

東京ガス株式会社

【担当部署】東京2020オリンピック・パラリンピック
推進部 コミュニケーション推進グループ

【所属人数】13名

【住所】東京都港区海岸1丁目5番20号

【電話】03-5400-3813(代表)

【URL】<https://www.tokyo-gas-2020.jp/>



同社では、オリパラアンバサダー制度を実施しており、各職場のオリパラ活動のけん引役となっている。



芳賀グループマネージャー

「パラスポーツに触れることで、社会には多様性があることを自然と理解できるようになります。でもそこで終わるのではなく、パラスポーツ支援で得た気づきや理解を仕事にも活かせるようになってほしい。これは多様なお客さまとの接点がある当社にとって、とても大切なことです。」と、東京2020オリンピック・パラリンピック推進部コミュニケーション推進グループマネージャーの芳賀千恵さんは語る。

TEAM BEYONDから得るのは、 一步を踏み出すために必要な情報

「まずは、比較的取り組みやすいパラスポーツの観戦会や体験会などから始めましたが、それ以外のことにも挑戦したいと思っても、当時は情報がほとんどなかったため何をしたらいいのかわからず、模索しながら活動を進めました。そんな頃、TEAM BEYONDのメンバーになって、情報を得られたことが、本当に良かったです。」と実感を込めて語る芳賀グループマネージャー。



「先日参加したTEAM BEYONDのワークショップでは、雇用したパラアスリートのイベント等での対応や教育、引退後のキャリアなど、先駆的な取組をしている他社様の事例を伺い、大変参考になりました。また、当社ではまだ顕在化していない課題についての予備知識が得られることもあり、いい勉強になっています。カンファレンスやワークショップで他社のオリパラ担当者知り合えるのも魅力です。どの企業様も模索しながら進めているため、必ずしも解決策が得られるわけではないのですが、お互いの状況が分かるだけでも違うと思います。」(芳賀グループマネージャー)

ここまで育ててきた火を、2021年 以降につなげたい

今後もパラスポーツの盛り上げを加速させるために課題を二つ設定している。

その一つは、パラスポーツを盛り上げるために、もっと多くの社員にパラスポーツに関心を持ってもらうこと。

そのために、パラスポーツ観戦会、情報誌全社員メール発信、オリジナルポロシャツの制作等、あれこれ悩みながら手を打っているところである。

二つ目は、2021年以降への対応である。

「パラリンピックが終わっても、共生社会の実現という課題は引き続き取り組むべきものだし、オリパラアンバサダーや、ポッチャ大会にしても、数年かけてここまで育てて盛り上がってきているので、その火を消すことなく、上手に社内につなげていかなければと思っています。そのために社内あるいは他社様との連携で何に取り組んだらよいか?は、どの企業にとっても難しいですが大変重要な課題です。TEAM BEYONDには、その先導役になっていただきたいです。」(芳賀グループマネージャー)



東京2020オリンピック・パラリンピック推進部の皆さん

コロナ禍における取組・今後の方向性

今後も当社の活動の方針は変わるものではないが、コロナ禍においては、競技会場に集まって頑張る選手に声援を送ったり、みんなでパラスポーツを体験したりといった、これまで行ってきたような活動については、難しい面がある。3密を避けてソーシャルディスタンスを守る、オンラインを活用する等、工夫をして活動を実施していく。